施工説明書

INAX

フリーコレクション（コンパクト洗面器用）

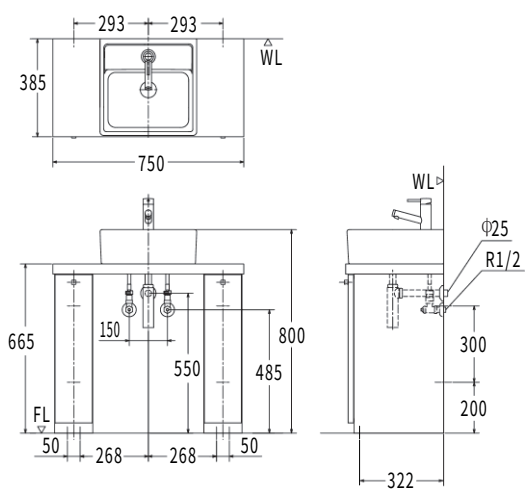
コンパクト洗面器　GL-A531タイプ
（詳細はコンパクト洗面器の施工説明書を参照）
カウンター（コンパクトタイプ）　LKF-3875
カウンター脚（コンパクトタイプ）　LKF-94
アンダーキャビネット（コンパクトタイプ）　TSF-303
ワゴン　TSF-501

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。

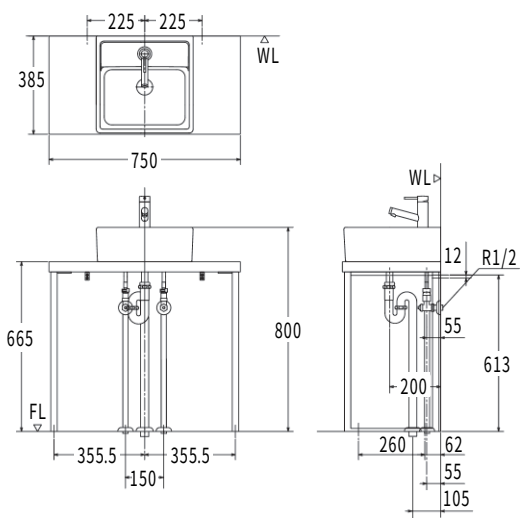
※このカウンターは、コンパクト洗面器の専用カウンターです。

施工完了図

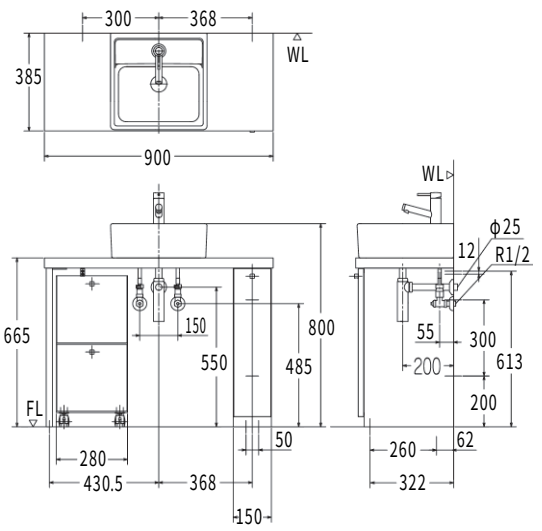
例1）洗面器セット：GL-A531SG(C)V
カウンター：LKF-3875
アンダーキャビネット：TSF-303



例2）洗面器セット：GL-A531SB(C)V
カウンター：LKF-3875
カウンター脚：LKF-94



例3）洗面器セット：GL-A531SG(C)V
カウンター：LKF-3875(90)C
アンダーキャビネット：TSF-303
カウンター脚：LKF-94
ワゴン：TSF-501



用語および記号の説明

注意……「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

……「注意しなさい！」（上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

……「指示通りにしなさい！」
（一般的な行動指示記号です。）

……「してはいけません！」
（一般的な禁止記号です。）

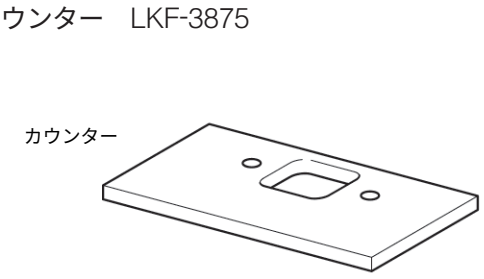
……「分解してはいけません！」

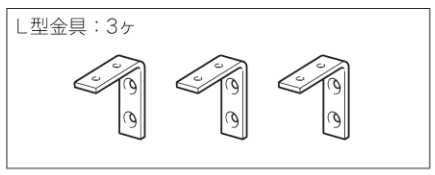
⚠ 注　意

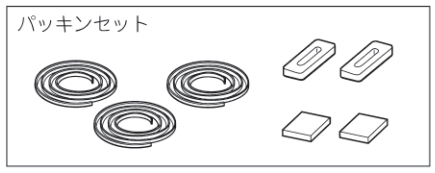
- 取付けは施工店が行ってください。また施工説明書の指示通りに施工してください。
  ※誤った施工は、取付けが不安定になり、ケガをする恐れがあります。
- 石こうボード等の木ねじのきかないボード張りの壁には取付木（補強木）を設け、ねじ込み深さを確保してください。
  ※取付けが不安定になり、ケガをする恐れがあります。
- 外れたり、ガタが生じないように強固に取り付けてください。
  ※取付けが不安定になり、ケガをする恐れがあります。
- 施工完了後は、カウンターのガタツキがないことを確認してください。
  ※締付けが不足すると、洗面器が落下、破損し、ケガをする恐れがあります。
- お客さまにお渡しするまでに凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。
  ※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす恐れがあります。
- アンダーキャビネット、ワゴンは扉が引き出し式のため、扉の前に物を設置しないでください。メンテナンス時に扉と物が干渉して扉の着脱ができません。
  ・アンダーキャビネット　TSF-303の扉引出し寸法：380mm
  ・ワゴン　TSF-501の扉引出し寸法：350mm
- 商品にもたれたり、たたいたり、強い衝撃を与えたり、硬いものをぶつけたり、冷水・熱湯をかけたりしないでください。
  ※破損しケガをする恐れがあります。
- ストーブやヒーターなど、熱を発生するものを近くに置かないでください。
  ※火災をおこす恐れがあります。
- 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
  ※破損しケガをする恐れがあります。
- 木製品ですので、浴室など湿気の多い場所への設置はしないでください。
  ※破損しケガをする恐れがあります。
- このカウンターセットは、GL-A531専用です。他の手洗器、洗面器は設置しないでください。
  ※破損しケガをする恐れがあります。
- カウンターには必ずLKF-94、TSF-303のいずれかを組み合わせてご使用ください。また、それぞれ単品で使用しないでください。
  ※破損しケガをする恐れがあります。

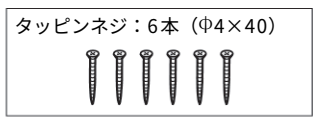
各部の名称と部品の確認（梱包内容を確認してください。）

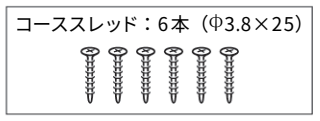
カウンター　LKF-3875





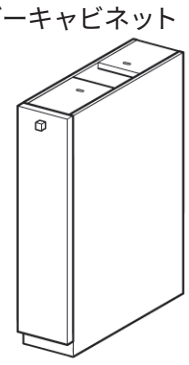


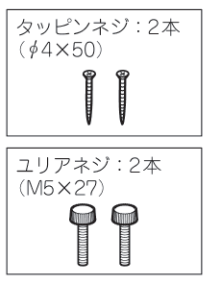


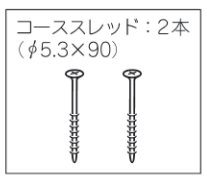


施工説明書　1枚
取扱説明書　1枚

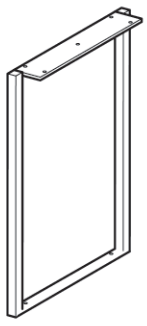
アンダーキャビネット　TSF-303

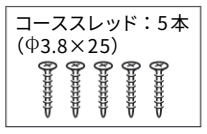




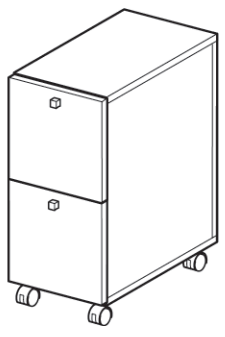


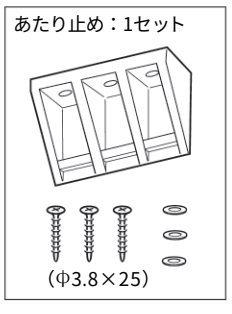
カウンター脚　LKF-94





ワゴン　TSF-501





※カウンターの下に排水芯～410以上のスペースが必要です。
※カウンターは注文サイズ品となります。

株式会社INAX

●商品・施工方法についてのお問い合わせ
お客さま相談センター　商品相談窓口
ナビダイヤル TEL 0570-017173

受付時間　平日　9:00～18:00
土日・祝日10:00～18:00
（年末年始、夏期休暇は除く）

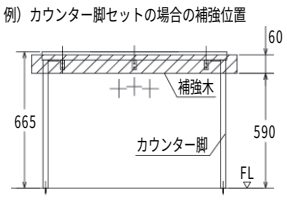
※ナビダイヤルは、PHS・IP電話などでご利用になれない場合があります。
TEL 0562-31-0793 をご利用ください。

施工前の確認

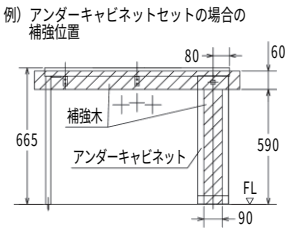
1. 壁面補強の確認

乾式壁の場合、カウンターの取付けには、壁面の補強が必要です。巾90㎜×厚30㎜以上の補強木を下図の位置に設けてください。

① 例）カウンター脚セットの場合の補強位置

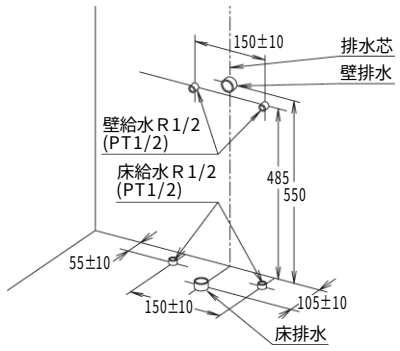


② 例）アンダーキャビネットセットの場合の補強位置

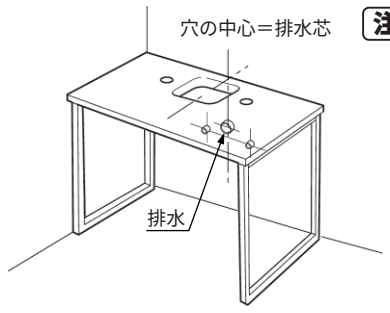


2. 給排水の確認

給排水の取出し位置は下図を参照してください。



注）カウンター穴の中心と、排水芯の位置を必ず合わせてください。
※施工できなくなる恐れがあります。



※指定の品番以外の水栓金具と組み合わせる場合は、取出し位置は水栓金具に同梱されている施工説明書でご確認ください。

3. 給水の確認

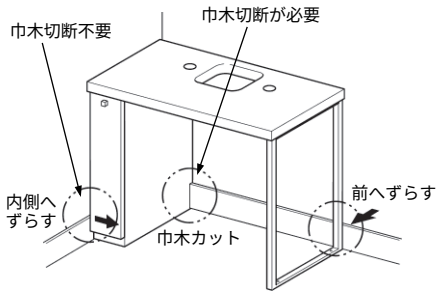
●給水は必ず上水道に接続してください。
※異物を多く含む水（井戸水・温泉水など）には使用できません。
●必ず配管内の異物を完全に洗い流してください。
●給水・給湯圧力は水栓によって異なります。
詳細は洗面器に同梱の施工説明書を参照してください。

4. 巾木の確認

壁に巾木がある場合は以下を参照してください。（巾木厚が10㎜以上の場合は取付不可）

注意 2

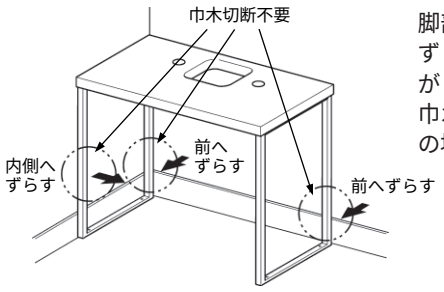
(1)アンダーキャビネットの横の巾木は切断不要です。



(2)アンダーキャビネットの後ろの巾木は、アンダーキャビネットが収まるように切断してください。

〈参考〉
アンダーキャビネット巾寸法
●TSF-303の場合：150㎜

(3)カウンター脚の後ろ及び横の巾木は切断不要です。

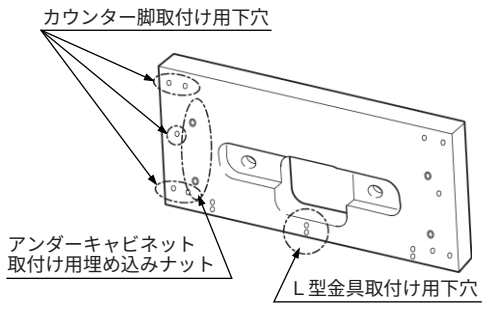


脚部分を巾木に合わせてずらして取り付けることができます。（ただし、巾木の厚みが**10mm以下**の場合に限ります。）

施工方法

1 カウンターの組立て（カウンター上面の傷防止のため、養生シートをご利用ください。）

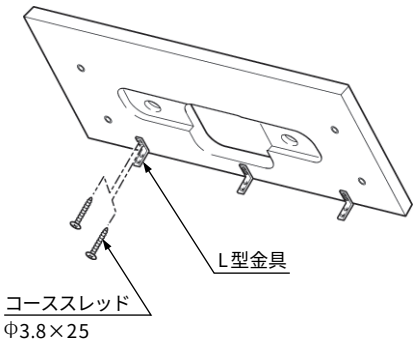
※カウンターには、取付けのための下穴があいています。



●標準施工するには…
下穴に従って、L型金具・カウンター脚・アンダーキャビネットを取り付けてください。

ポイント 1 巾木等がある場合は、取付け位置をずらしてください。
（施工前の確認4参照）

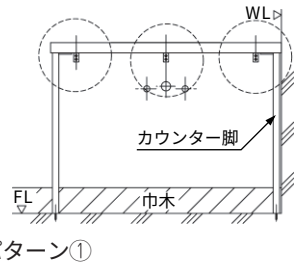
(1)カウンターにL型金具を取り付けます。



●カウンター裏に取付下穴があります。

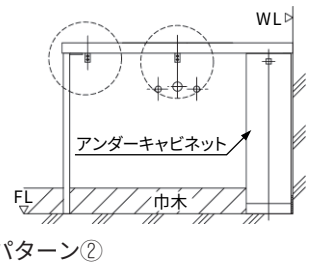
ポイント 2 L型金具は3ヶ同梱してありますが、アンダーキャビネットを設置する場合は使用数量を調整してください。 注意 3

L型金具3ヶ



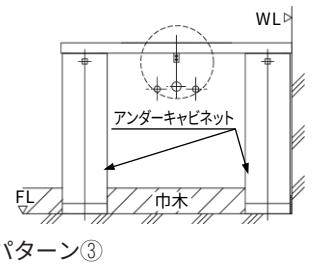
パターン①
カウンター脚2本のとき
L形金具3ヶ使用

L型金具2ヶ



パターン②
カウンター脚1本とアンダーキャビネット1台のとき
L形金具2ヶ使用

L型金具1ヶ



パターン③
アンダーキャビネット2台のとき
L形金具1ヶ使用

注意 1
カウンター穴中心と排水芯の位置を合わせてください。

注意 2
巾木厚が10mm以上の場合は取付不可です。

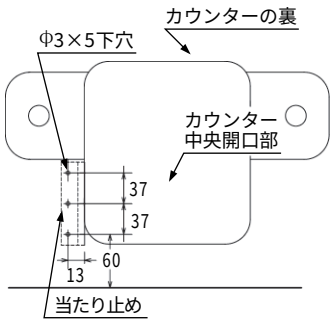
ポイント 1
巾木がある場合、カウンター側は巾木をよけて設置してください。

ポイント 2
標準施工するには、カウンター裏の下穴どおりに取り付けてください。

注意 3
L型金具の設置数は、アンダーキャビネットの有無によって異なります。

ポイント 3

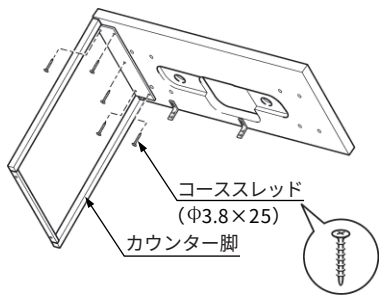
ワゴンをカウンター下に収める場合は、カウンター下に当たり止めを取り付ける必要があります。
その下穴をあらかじめあけておいてください。



⑵カウンターに、カウンター脚及びアンダーキャビネットを固定します。

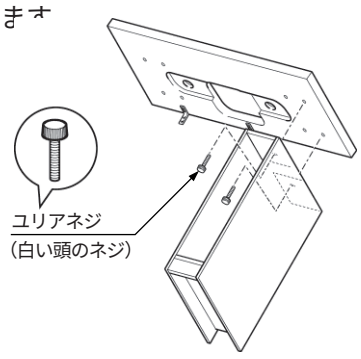
●カウンター脚の取付け

コーススレッドネジで、カウンターに取り付けます。



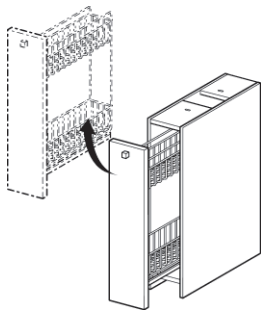
●アンダーキャビネットの取付け

ユリアネジでキャビネットの内部からアンダーキャビネットを固定します。



●アンダーキャビネット引出しの取外し方

取付け前にアンダーキャビネットの引出しを外してください。



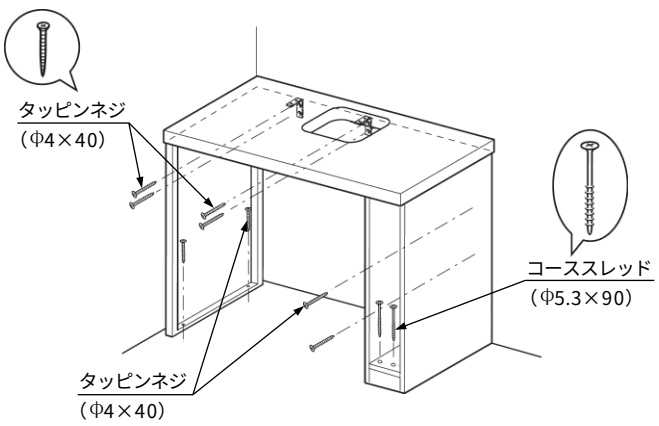
ポイント 3 巾木厚みに応じて、カウンター脚およびアンダーキャビネットの取付け位置をずらすことができます。(前頁参照)

2 カウンターの固定

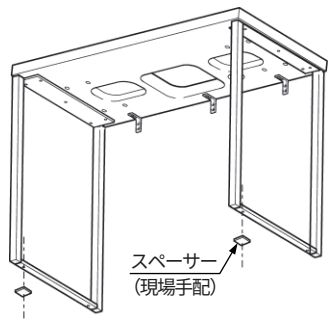
ポイント 4

カウンター棚の水平調整にはワッシャーを使ってください。

組み立てたカウンターを壁及び床に固定します。



ポイント 4 床が水平でない場合、取付け部にスペーサー(現場手配)を挟んで調整してください。



3 洗面器の取付け

ポイント 5

背面のひもパッキンは、端より5㎜程度控えめな位置に貼る方が仕上りがきれいになります。

注意 4

陶器表面にキズがつかないよう、養生シートの上で作業してください。

注意 5

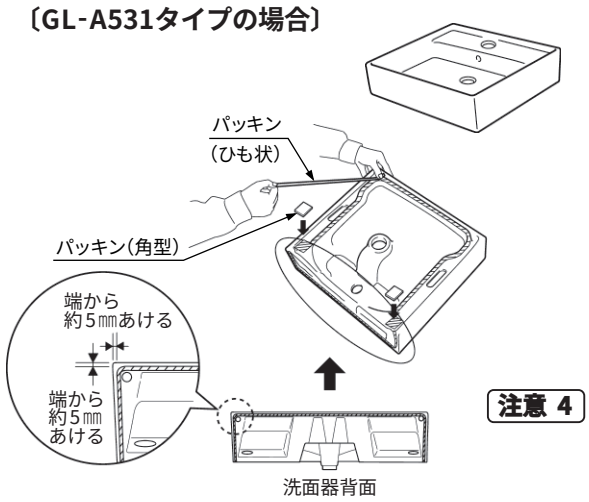
カウンターの上で洗面器をずり動かさないでください。
※カウンターに傷がつく恐れがあります。

注意 6

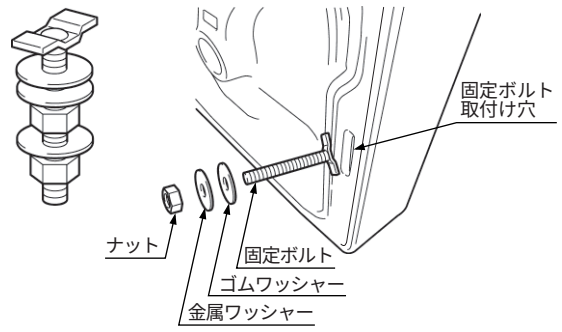
洗面器の中心をカウンター穴中心に合わせて設置してください。

⑴洗面器にパッキンを貼ります。底面は、内側のラインに貼付してください。背面は、上端から5㎜下がった位置に貼付してください。
※スポンジパッキンは取付時、カウンターや壁のこすれキズ防止のためのもので、防水を目的としたものではありません。

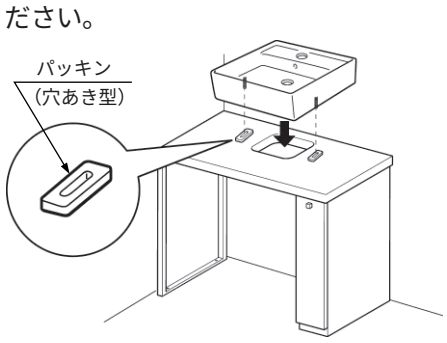
〔GL-A531タイプの場合〕



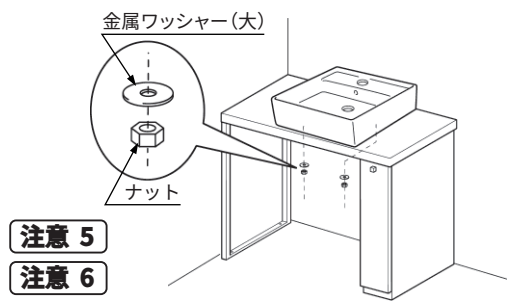
⑵洗面器に固定金具を取り付けます。



⑶洗面器をカウンターの上に載せます。
あらかじめ、カウンター上のボルト穴回りにパッキンを貼ってください。



⑷カウンターの下から洗面器をワッシャーとナットで固定します。

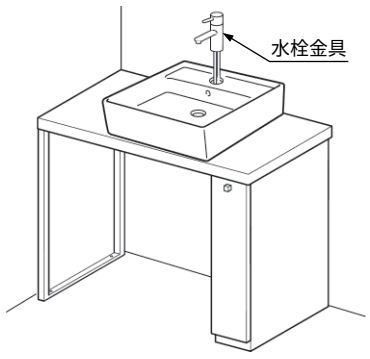


施工方法

1 カウンターの組立て
(1) L型金具の取付け
(2) カウンター脚の固定
アンダーキャビネットの固定
→ 2 カウンターの固定
→ 3 洗面器の固定
(1) パッキン貼り
(2) 固定金具の取付け
(3) 洗面器の取付け
(4) 洗面器の固定
→ 4 水栓金具の取付け
→ 5 排水金具の取付け
→ 6 排水口カバーの取付
→ 7 給水管の接続
(1) 止水栓の取付け
(2) ソケットの取付け
(3) ホースの固定
→ 8 排水管の接続
→ 9 施工後の確認
→ 10 ワゴン当たり止めの設置

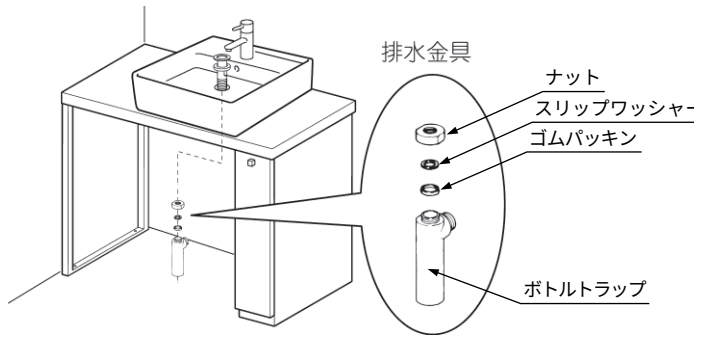
4 水栓金具の取付け（詳細は洗面器に同梱の施工説明書を参照してください。）

洗面器に水栓金具を取り付けます。

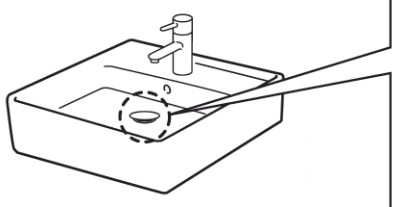


5 排水金具の取付け（詳細は洗面器に同梱の施工説明書を参照してください。）

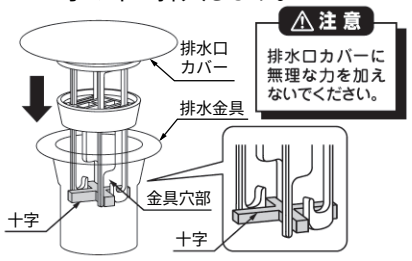
洗面器に排水金具を取り付けます。



6 排水口カバーの取付（詳細は洗面器に同梱の施工説明書を参照してください。）

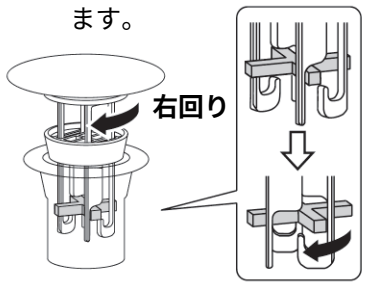


1 排水口カバーの金具穴部を排水金具の十字の中へ挿入します。

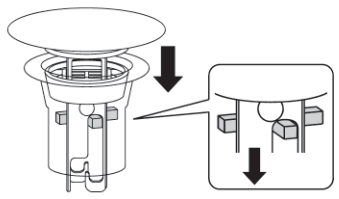


⚠注意
排水口カバーに無理な力を加えないでください。

2 排水口カバーを右回りにゆっくりと回転させます。



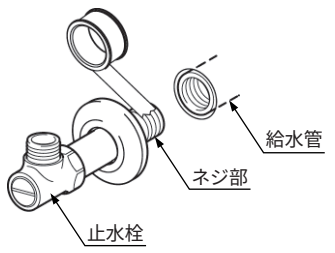
3 排水口カバーを下に降ろして取付け完了です。



7 給水管の接続（詳細は洗面器に同梱の施工説明書を参照してください。）

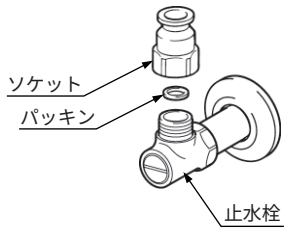
※フレキホース接続の場合。

(1)壁面の給水管に止水栓を取り付けます。

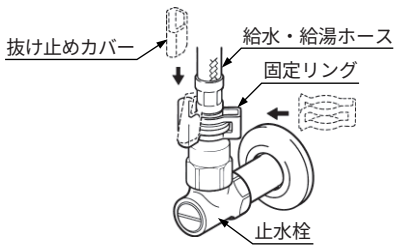


注意 7
注意 8

(2)ソケットを止水栓に固定します。



(3)給水・給湯ホースをソケットに差し込み、固定リングを接続部（ツバ部）にはめ込みます。

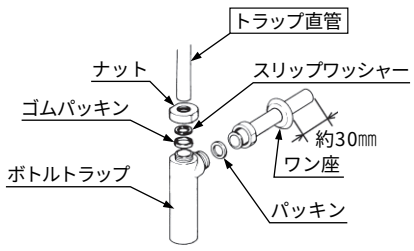


注意 9

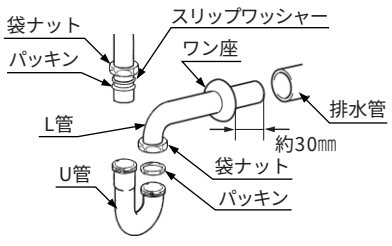
8 排水管の接続（詳細は洗面器に同梱の施工説明書を参照してください。）

※排水管は、ボトルトラップ仕様、Sトラップ仕様、Pトラップ仕様があります。

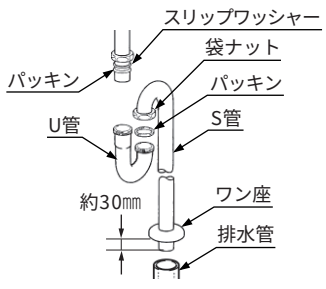
〔ボトルトラップの取付け〕



〈Pトラップの場合〉



〈Sトラップの場合〉



9 施工後の確認

1. カウンター本体の確認
ネジが十分に締まっており、がたつきがないことを確認してください。

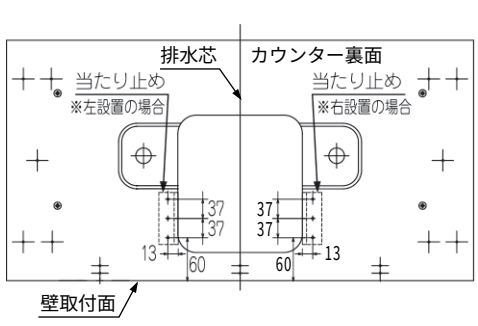
2. 吐水量の確認
水栓を操作して吐水量が適切かどうか（水はねしたり、吐水量が少なすぎたりしないか）を確認してください。

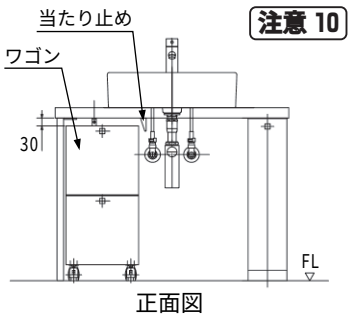
3. 漏水、排水の確認
(1)給水から排水までの水経路上、漏水がないことを確認してください。
(2)排水がスムーズに行われることを確認してください。
※詳細は、洗面器に同梱の施工説明書を参照してください。

10 ワゴン当たり止め設置（ワゴン設置の場合）

ワゴンをカウンターの下に収納する場合は、ワゴンに同梱されているゴム製の当たり止めをカウンターの下にネジで取り付けてください。

注意 10





正面図

注意 7
ネジ部にシールテープ等のシール材を巻き付けてねじ込んでください。
※漏水の原因となり、家財等を濡らす恐れがあります。

注意 8
止水栓が上下に動く場合は、動かないように止水栓を固定してください。
※漏水の原因となり、家財等を濡らす恐れがあります。

注意 9
ソケットを給水・給湯ホースと先に接続してから、止水栓に固定することはおやめください。
※ソケットや給水・給湯ホースに無理な力がかかる場合があり、破損・漏水の原因となります。

注意 10
当たり止めは、ワゴンが給排水管にぶつかるのを防ぐための部品です。ワゴンをカウンターの下に収納して使用される場合は必ず取り付けてください。